

一道を往く一展

～歩く向こうに～

2017.12.16 土 2018.2.4 日

道

それは、人々が生活していく上で必ず通る場所。見知らぬ土地の曲がり角がある道では、その先に何か特別なものがあるような、わくわくする出来事を想像してしまう不思議な感覚を覚えます。また、まっすぐな道は、未来への光を与えてくれるような気持ちにもなります。

普段皆さんが、何気無く歩いているいつもの道を、この機会にもう一度見つめなおして、日常を楽しんでみるのもいかがでしょうか。

本展では塩江美術館コレクションの中から、道が描かれている作品に焦点をあて、ご紹介いたします。鑑賞者が画面に描かれている道を歩いてゆき、その先に何かの物語を想像しながら、作品をじっくりと鑑賞する機会になることを願っています。

出品作家プロフィール

伊東 義久 ITO Yoshihisa
1917年 香川県高松市に生まれる
1999年 「ヘッセのように描く水彩画」を出版
2003年 逝去
日本の四季に魅せられて、水彩の透明感のある風景作品を残している

川瀬 巴水 KAWASE Hasui
1883年 東京都に生まれる
1910年 岡田三郎助に洋画を学んだのち、
鏑木清方のもとに入門
1957年 逝去
生涯を通して、風景画版画の制作に専念
新版画の代表者の一人で、旅情・抒情的作風

熊野 俊一 KUMANO Toshiichi
1908年 香川県高松市に生まれる
1934年 二科会 21回展 入選
1945年 塩江小学校で終戦の8月まで、教鞭をとる
2005年 逝去
ヨーロッパの風景を、油絵によるのびのびとしたタッチで表現している

田中 祐一 TANAKA Yuichi
1910年 香川県高松市に生まれる
1960年 光風会展受賞
1980年 逝去
人々が暮らす街をモチーフに、街角の風景をさりげない視点で描いている

- | | | |
|---|----------------|---------|
| 1 | 伊東 義久 《八幡堀》 | 1997 部分 |
| 2 | 田中 祐一 《街の見える丘》 | 1978 部分 |
| 3 | 川瀬 巴水 《香川県和田浜》 | 1954 部分 |
| 4 | 熊野 俊一 《蘇州の村》 | 1980 部分 |
| 5 | 田中 祐一 《神戸風景》 | 1964 部分 |

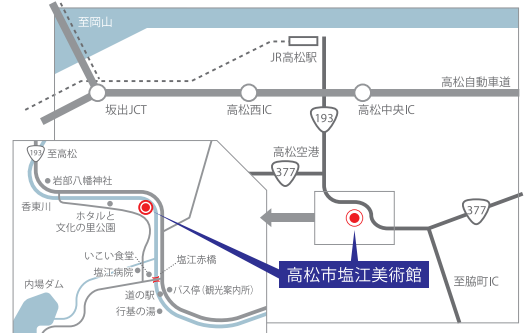
表紙 川瀬 巴水 《鯉のぼり》(讃岐豊浜) 1948 部分

高松市塩江美術館

Takamatsu Shionoe Museum of Art

〒761-1611 香川県高松市塩江町安原上 602

TEL 087-893-1800 FAX 087-893-1833



交通案内

バス：JR高松駅から「ことでんバス塩江線」約60分、
塩江バスターミナル下車徒歩10分

自動車：高松中央ICより約40分

飛行機：高松空港よりタクシーで約20分



美術館HP



創造都市
推進局FB

「いいね!」をお願いします

創造都市 高松
CREATIVE CITY TAKAMATSU